

— Yahoo!リサーチ 新卒社員の仕事に関する意識調査 —

理想のビジネスパーソン像への道のりは険しい？ 女性はもちろん男性も、「育児休業や時短勤務」への関心高い

<http://www.yahoo-vi.co.jp/research/100224.html>

調査期間：2010年2月5日～8日/インターネットウェブ定量調査、4月から新卒社員として働く予定の男女200人を対象に実施

2010年2月24日

ヤフーバリューインサイト株式会社

Yahoo!リサーチを運営するヤフーバリューインサイト株式会社(本社/東京都中野区、代表取締役社長/田部 信)では、「新卒社員の仕事に関する意識調査」を、自社調査専用パネルを対象に実施しました。

2010年4月から企業に入社し正社員として働き始める予定の今年の新卒社員たちに、仕事に対する姿勢や意欲、意識などについて、【理想】と【自信】およびそのギャップを確認し、イマドキの新卒社員像を描いてみました。

調査結果トピックス

- ・高いコミュニケーション能力、社会貢献・・・、理想のビジネスパーソン像への道のりは険しい？
- ・「経済的に不自由のない、家族を満足させられる収入を得る」、理想と自信に大きなギャップ
- ・女性の社会進出が進みつつある現代も【出世意欲】は男女間に大きな意識の差。「育児休業や時短勤務」には女性はもちろん男性も高関心

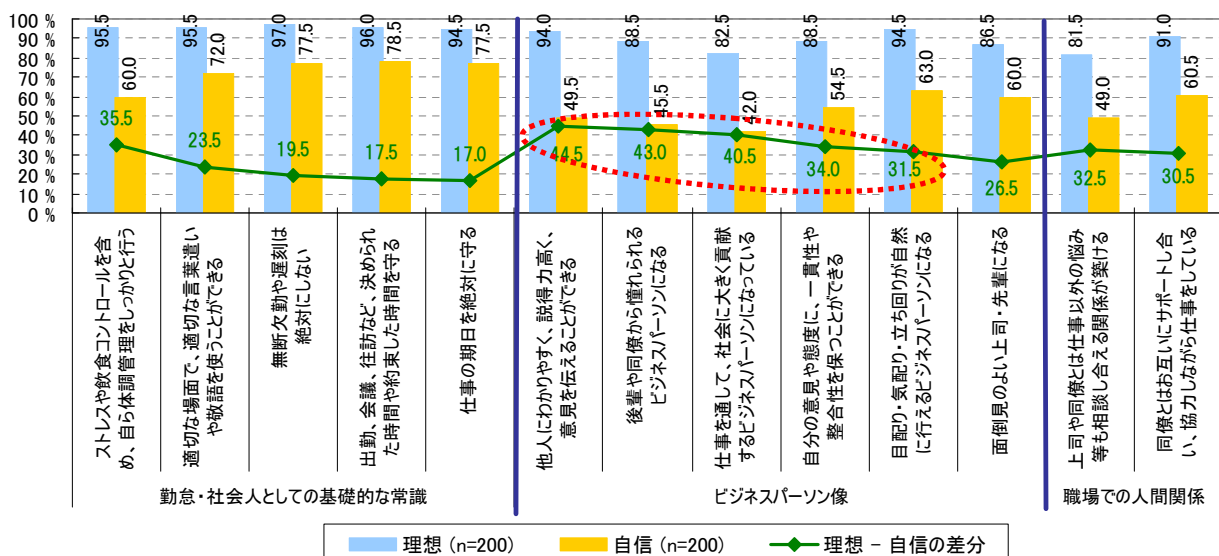
【1】高いコミュニケーション能力、社会貢献・・・、理想のビジネスパーソン像への道のりは険しい？

新卒社員の皆さんが、「絶対そうなりたい」「どちらかといえばそうなりたい」と思うビジネスパーソン像(以下、『理想』)と、そのビジネスパーソン像になることができる自信の度合いを「絶対実現させる自信がある」「どちらかといえば実現させる自信がある」(以下、『自信』)で回答してもらい、『理想』と『自信』の差を確認しました。

まず、勤怠や体調管理、言葉遣い、時間や期日の厳守などの【勤怠・社会人としての基礎的な常識】、適切な意思伝達や一貫性・整合性、社会人としての様々な配慮、社会貢献などの【ビジネスパーソン像】、そして【職場での人間関係】といった項目では、これから社会人生活を始める新卒社員の「なりたい」思いが全体的に強く、『理想』のスコアが80%台後半から95%あたりに集中しました。

対する『自信』は、学生時代の延長からある程度の想像が可能な【勤怠・社会人としての基礎的な常識】では、『理想』－『自信』の差分が20ポイント以内に収まる項目が多くなっています。しかし、【ビジネスパーソン像】では『理想』との差が著しい項目が多く、「わかりやすく、説得力高く意見を伝えることができる」「憧れられるビジネスパーソンになる」「社会に大きく貢献するビジネスパーソンになる」などでは、『理想』の半分程のスコアに留まり、そのギャップが目立ちました。

【勤怠・社会人としての基礎的な常識】【ビジネスパーソン像】【職場での人間関係】『理想』と『自信』 全体 n=200



※「理想」は、各項目に対して「絶対そうなりたい」または「どちらかといえばそうなりたい」のスコアの合算値

※「自信」は、各項目に対して「絶対実現させる自信がある」または「どちらかといえば実現させる自信がある」のスコアの合算値

【2】「経済的に不自由のない、家族を満足させられる収入を得る」、理想と自信に大きなギャップ

次に、【仕事への姿勢】や【学習意欲】【出世意欲】【ワークライフバランス・労働環境】について、確認しました。

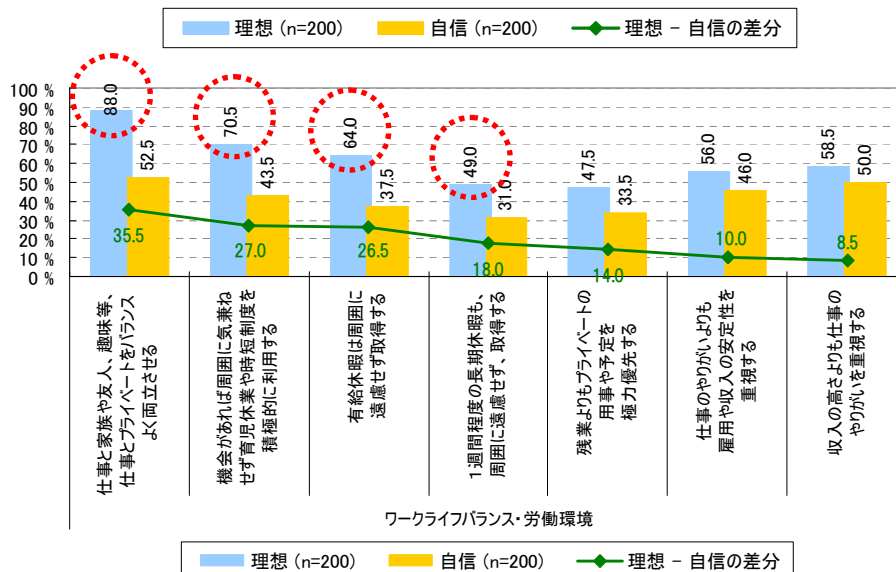
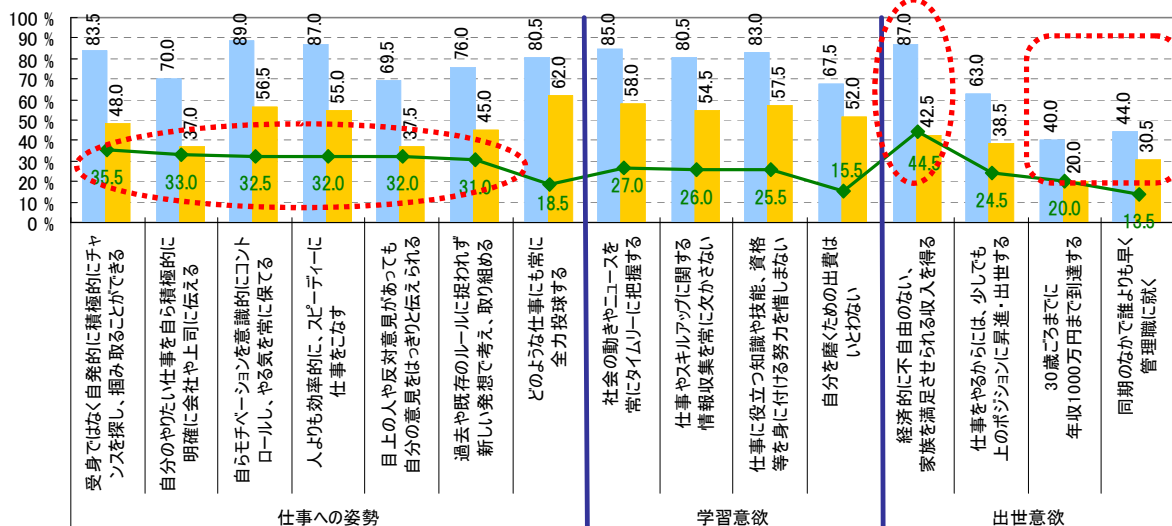
自己モチベーションコントロールや効率的な業務遂行、自発的取り組み、明確な意思伝達などの【仕事への姿勢】については、『理想』が70～80%台に集中し、多くの新卒社員が「そうなりたい」という気持ちを持っているようです。しかしながら、『理想』-『自信』の差は3割強と、『理想』の半数程度に留まる項目が多く、前述の【ビジネスパーソン像】と同様、「実現させる」と言い切れる自信がある人は少なめのようです。

また、仕事やスキルアップのための情報収集や努力などの【学習意欲】は、8割強に集中する『理想』に対し、『自信』は6割弱と、【ビジネスパーソン像】や【仕事への姿勢】と比べると実現方法が想像しやすいためか、やや『理想』と『自信』の差が少なくなっています。

【出世意欲】の「経済的に不自由のない、家族を満足させられる収入を得る」は、『理想』の87%に対し、『自信』は43%と半分程度になっており、近年の経済状況の影響か、自分個人の自信のなさを反映したのか、不安が大きいようです。その他、「30歳ごろまでに年収1000万円まで到達する」「同期のなかで誰よりも早く管理職に就く」は、『理想』も4割程度で半数を下回っています。

【ワークライフバランス・労働環境】では、『理想』のスコアが、「仕事とプライベートを両立させる」や「育児休業や時短制度を積極的に利用する」で7割以上、「有給休暇は周囲に遠慮せず取得する」が6割半ば、「1週間程度の長期休暇も周囲に遠慮せず取得する」が約5割を占め、仕事だけでなくプライベートも大切に近年の思想や傾向が反映される結果となりました。ただし、社員として働いた経験がないためか、『自信』とのギャップが30ポイント以上の項目もあり、実際に入社してみなければ実現できるか分からないと考えているようです。

【仕事への姿勢】【学習意欲】【出世意欲】【労働条件・WLB】『理想』と『自信』 全体 n=200 【単一回答】



※「理想」は、各項目に対して「絶対そうなりたい」または「どちらかといえばそうなりたい」のスコアの合算値

※「自信」は、各項目に対して「絶対実現させる自信がある」または「どちらかといえば実現させる自信がある」のスコアの合算値

【3】女性の社会進出が進みつつある現代も『出世意欲』は男女間に大きな意識の差。「育児休業や時短勤務」には女性はもちろん男性も高関心

男女別では、全体的に『理想』『自信』ともに男性のスコアが女性よりも圧倒的に高いことが特徴的でした。

【ビジネスパーソン像】や【学習意欲】などの項目では、『理想』のスコアには男女間の大きな差が見られませんでした。が、『自信』では男性のスコアが女性を大きく上回り、女性の『理想』-『自信』の差分は男性の差分の2倍以上に達するものもあり、女性の自信のなさが顕著に表れていました。

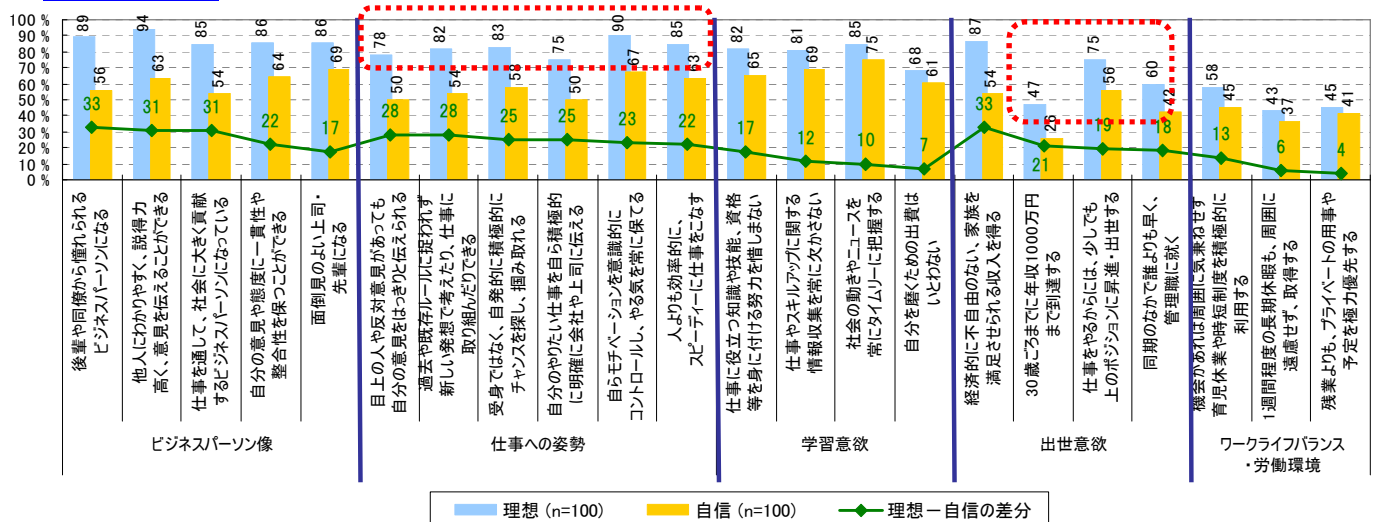
【仕事への姿勢】や【出世意欲】では、『理想』『自信』ともに男女間に大きな差が見られ、男性では『理想』が全般的に70～90%のレンジに集中するのに対し、女性では自発性や自己モチベーションコントロール、効率よく業務遂行といった項目は男性並なものの、意見の主張や新しい発想といった項目では男性を10ポイント以上下回っています。また、その『自信』も軒並み男性に比べて低い結果となっています。【出世意欲】では男女差は更に顕著で、男女雇用機会均等法が整備された現代においても、女性の出世や昇進に対する意欲や自信は男性と比べて極めて低いようです。

一方で、育児休業や時短制度の積極利用については、女性の『理想』は8割を超える高さとなっており、こういった制度を積極活用していきたい気持ちの表れとなっています。男性の育児休業・時短勤務利用意向も6割に達する高さとなっており、若年男性の育児への関与・関心の高さが伝わってきます。しかし、育児休業・時短勤務利用の『理想』と『自信』の差が、男性では13ポイントと少なく楽観的であるのに対し、女性では41ポイントで男性の約3倍と、実際に利用できるかどうかの現実的な心配事になっている様子が見えてきます。

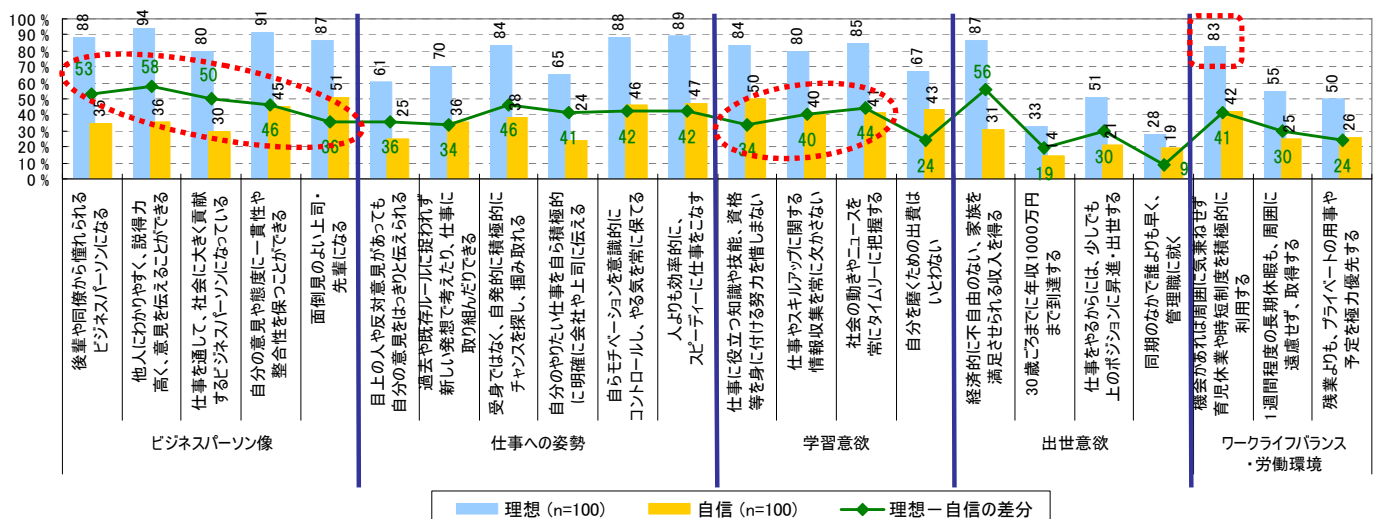
『理想』と『自信』 男女別 各 n=100

【単一回答】

男性



女性



※「理想」は、各項目に対して「絶対そうなりたい」または「どちらかといえばそうなりたい」のスコアの合算値

※「自信」は、各項目に対して「絶対実現させる自信がある」または「どちらかといえば実現させる自信がある」のスコアの合算値

<調査項目一覧>

- ・なりたいと思うビジネスパーソン像
- ・実際に自分自身がなれると思う自信
- ・競争、評価、規律、協調性、人との関わりなどに関する意識

<調査概要>

調査目的 : 2010年4月に入社予定の新卒社員の「理想」のビジネスパーソン像とその「実現の自信の度合い」
とのギャップを探る

調査方法 : インターネットウェブ定量調査

調査対象 : 2010年3月に四年制大学または大学院を卒業予定で、2010年4月に一般企業（公務員・特殊法人・
NPOは除く）に正社員として入社予定の全国の男女 200人

割付 : 男女各100人

調査期間 : 2010年2月5日（金）～2月8日（月）

<Yahoo!リサーチ メールマガジン「インサイト★ニュース」のご案内>

最新自主調査データやサービスのご紹介、マーケティングリサーチ関連情報などをお届けします。（月2回）

ご登録はこちらから: <https://www.yahoo-vi.co.jp/inquiry/mailmagazine/index.php>

<ヤフーバリューインサイト株式会社について>

「市場の生活者ニーズを捉え、マーケティング課題を解決し、企業の成長に貢献する価値を提供すること」、それが私たちの使命です。ヤフーバリューインサイト株式会社は、マーケティングリサーチのリーディングカンパニーとして、国内最大級かつ高品質な調査パネルを基盤に、インターネットリサーチから従来型手法まで、豊富なリサーチサービスを提供しています。2008年7月より、ヤフー株式会社と「Yahoo!リサーチ」ブランドの共同運営を開始し、Yahoo! JAPANを通じた調査パネルの充実、インターネットにおけるノウハウやインターネット利用動向の活用、そして、マーケティングテクノロジーの研究・開発を続け、これまでにないサービスや価値を提供してまいります。

会社名 : ヤフーバリューインサイト株式会社 <http://www.yahoo-vi.co.jp>

所在地 : 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル1F
TEL: 03-3367-1967(代表) FAX: 03-3367-1961

新会社発足日: 2007年7月1日

資本金 : 7億円

代表者 : 代表取締役社長 田部 信（たなべ しん）

事業内容 : ・マーケティングリサーチ事業
・データ解析事業
・マーケティングコンサルティング事業

所属団体 : ・社団法人日本マーケティング・リサーチ協会（JMRA）
・社団法人日本マーケティング協会（JMA）
・ESOMAR（ヨーロッパ世論・市場調査協会）
・日本行動計量学会
・日本消費者行動研究学会理事会（JACS）
・日本マーケティング・サイエンス学会（JIMS）

【 本件についてのお問い合わせ先 】

ヤフーバリューインサイト株式会社 マーケティングコミュニケーション室 広報

TEL: 03-3367-1959 FAX: 03-3367-1969

お問合せフォーム <https://www.yahoo-vi.co.jp/inquiry/form/index.php>

引用・転載時のクレジット表記について

Yahoo!リサーチの調査結果引用の際は、必ずクレジット/調査概要を明記いただけますようお願いいたします。

例)「Yahoo!リサーチ調べ / 全国〇〇～〇歳の男女〇名、2009年〇月〇日～〇月〇日実施」